

第14回 医療的ケア研修セミナー

日本小児神経学会は、社会活動・広報委員会の担当で「医療的ケア講師研修セミナー」を2004年から毎年開催し、その内容をもとに「医療的ケア研修テキスト」を発行してきました。本会は、2009年度より「医療的ケア研修セミナー」と改称され、より多くの方を対象としたセミナーとなっております。2017年度は下記の要領で東京において開催いたします。

期 日 2017年11月12日（日）9：30～17：30（受付開始8：30）

会 場 東京大学内医学部鉄門記念講堂 〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

対 象 重症神経疾患児・重症心身障害児（者）等の、医療・療育・教育・通園通所・訪問看護などに携わる、医師・看護師・保健師・理学・作業療法士・言語聴覚士・教員・保育士など

目 的 家庭・学校・保育所、障害児者通所施設などにおいて、在宅地域生活支援のために「医療的ケア」が拡がりを持ちながら適切に行われるよう、専門職が知っておくべき方法・技術、リスクおよび制度論などの諸問題について研修し、支援者が知識を共有できることを目的とする。

定 員 250名（申し込み先着順）

参加費 医師7,000円、非医師3,000円、医療系学生2,000円（当日お支払い）

主 催 一般社団法人日本小児神経学会

共 催 日本重症心身障害学会、一般社団法人日本小児看護学会

後 援 厚生労働省、文部科学省 板橋区、板橋区医師会、日本小児保健協会、日本小児神経学会関東地方会

申込受付 2017年9月11日（月）～10月26日（木）

申込方法 受付終了

問合せ先 一般社団法人日本小児神経学会事務局（東京都新宿区余丁町8-16、ネオメディアピア4F）

Fax：03-3351-4067

第14回医療的ケア研修セミナー会長 米山 明（心身障害児総合医療療育センター小児科）

同 事務局

高橋長久（心身障害児総合医療療育センター小児科）

専門医研修単位 小児神経専門医研修単位5単位が認められます。

プログラム

午前の部（9：30～12：40）小児等在宅医療・地域生活を支える医療的支援について（司会：米山 明）

「医療的ケア」と支援体制などー日本小児神経学会の15年間の取組みをふり振り返りながらー
北住映二（心身障害児総合医療療育センター）

小児等在宅診療を通じて地域生活支援を考えるー福祉・保健との連携ー

宮田章子（さいわいこどもクリニック）

在宅生活を支えるリハビリの役割

直井寿徳（スマイル訪問看護ステーション）

小児等在宅医療を地域で支えるネットワーク作り（医療・保健・福祉・教育）

谷口由紀子（淑徳大学看護栄養学部地域看護学領域）

行政説明1 小児等在宅医療について

桑木光太郎（厚生労働省医政局地域医療計画課在宅医療推進室）

親の立場から「医療的ケア」について、支援者へ望む事

野田聖子（衆議院議員）

午後の部（13:40～17:30）学校等における医療的ケアについて（司会：田角 勝）

「学校等における医療的ケアについて」

分藤賢之（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官）

「医療的ケア」必要児童生徒への教育支援：特別支援学校の現状と課題

大山衣絵（東京都立光明学園）

特別支援学校における指導医の役割と「医療的ケア」の実際

山口直人（東京都立志村学園・心身障害児総合医療療育センターリハビリテーション科）

「指示書」は 医療と教育の連携ツール—指示書の意味と学校（保育所等）での実践—

中谷勝利（東京都立大泉特別支援学校・心身障害児総合医療療育センター研究研修部）

今後の「医療的ケア」について

—「学校における人工呼吸器療法児への対応についてのガイド」日本小児神経学会案の紹介—

高田 哲（神戸大学大学院保健学研究科）

※講師敬称略

※演題名、講演順は変更になることがあります

※会場内で飲食はできません。大学構内または近隣のお店等のご利用をお願いします

※昼休み中：胃瘻ボタン、気管カニューレ、人工呼吸器、災害時の代替機器などの展示と体験コーナーがあります